Oh!Me
オー！ミー
インターネットと連動した【滋賀生活情報紙】
MAINICHI 毎日新聞
この情報紙は「滋賀ガイド」と提携しています
滋賀ガイド www.gaido.jp
vol.526・8月7日号　毎週木曜発行
●Oh!Me編集室／株式会社ヤマプラ：近江八幡市桜宮町294　TEL0748-34-8872　FAX0748-34-8927
●広告／滋賀毎日広告社：大津市打出浜3-16 TEL077-522-2603
●発行／毎日新聞大阪本社開発宣伝部：大阪市北区梅田3-4-5
発行部数：100,000部

4面にプレゼント情報！

40代から始めたギター作り

納得いく音色を求めて

素敵な人　ギター製作家　宇野（うの） 充（みつる）さん（大津市在住・65歳）

ギター製作家の宇野充さん。大手電機メーカーに勤めていたがギター好きが高じて自宅に工房を設け、独学でギター作りを始めた。４年前からはギターとハープを合体させた新楽器「ギタルパ」も手掛けるようになり、全国にもファンを広げている。

独学で製作スタート

宇野さんとギターとの出合いは高校時代。個人レッスンを受けていたが、社会人になると仕事が忙しくなり、ブランクが20年ほど続いた。

これではいけないと40代に入ってギターを再開。気に入った音色のギターを徹底的に探し回った。ようやく見つけたが、価格は200万円。当然ながら妻が首を縦に振らなかった。仕方なく購入はあきらめたが、ふと「自分で作ってみよう！」と思い立った。大手電器メーカーの製造部門で30年も仕事を続けていたので、物作りには自信があった。見よう見まねでギター作りを開始した。

手持ちのギターをバラし、インターネットで情報をかき集めた。ようやく完成にこぎつけたときの感動は今でも言葉に表せないという。

それから５年の間に自宅のガレージを改造して工房を作り、道具もそろえた。道具もよりよいものを求めて自作する徹底ぶり。努力の甲斐あって54歳のとき、第１回アマチュアギター製作コンテストに出品し、「細部までしっかり作られていて音が良い」と好評を得た。

翌年、職場で大規模な早期退職者の募集があり、ギター作りに専念しようとこれに応募。55歳で定年退職した。

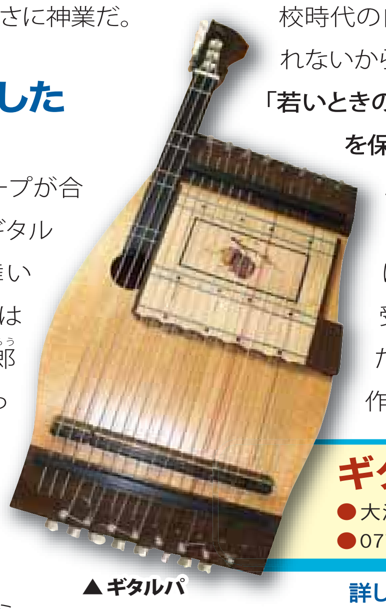
独自の製法も考案

「2005年のギター展示会場で、ギター製作者の中山修（なかやましゅう）さんに出会いました。それがきっかけで自宅工房に来ていただき、２日間みっちりとスペイン仕込みのギター作りを教えていただきました」

中山さんは、宇野さんが若いときに大事に使っていたギターの製作者。まさに運命的な出会いだった。

宇野さんが作るギターには独自の工夫が少なくない。たとえばギターは裏板を貼り付けて初めて音が出るが、完全に貼ってしまうと作り直しができない。そこで、特殊な方法で裏板を仮止めし、気に入る音が出るまでギター内部を削って調整する。気が遠くなるような難しい仕事で、まさに神業だ。

ハープと合体した「ギタルパ」も



▲ギタルパ

４年前、ギターとハープが合体した新しい楽器「ギタルパ」の製作依頼が舞い込んできた。発案者はギタリストの吉川二郎（よしかわじろう）さん。宇野さんが作った竹製のギターの仕事の確かさが認められてのことだった。すでに何台かを納品しているが、さらに改良を加えながら製作を続けている。

ここまでギター作りを極めてきた宇野さんだが、今でもギターレッスンを受けながら演奏会に参加している。若い仲間と交流しているとギターに夢中だった高校時代の自分を思い出し、初心を忘れないからだそうだ。

「若いときの趣味を続けることは、若さを保つ良い方法だと思います」

以前は楽器店を通じてギターを販売していたが、今はネットなどで直接注文を受け、弾き手の要望に応じた完全オーダーメードで作っている。（取材・鋒山）

ギター工房UNO
●大津市本丸町3-4
●077-525-1889

詳しくは▶www.gaido.jp/suteki

滋賀生活情報紙【Oh!Me】はお近くの毎日新聞販売店からお届けしています。
毎日新聞のご購読お申し込みは
フリーダイヤル　0120-468-012（ヨムハ マイニチ）

月と星と、車を眺めに来ませんか…
軽トラック&キャブバンNO.1の展示場作りを目指しております。
ダッシュ車検（１日車検）始めました！
エコカー&ハイブリッドカー整備OK!
ローン特別金利
新　車…3.5%
中古車…3.7%
期間限定 8月12日まで
DAIHATSU YASU Pit
ダイハツピット野洲（株）
☎077-587-3513
■野洲市市三宅763-23　■定休日 毎週水曜日
ダイハツピット野洲　検索